

中間支援活動助成(基本)事業実績報告

団体名	一般社団法人 さんぴいす	代表者名	代表理事 河口 紅
事業名	淡路市中間支援ネットワーク自立支援サポート事業(2年目)		

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R4 実績	6+随時 / 30	3	3	4	1
R5 計画	6+随時	随時	3	-	1
R5 実績	6+随時 / 41	随時	3	5	1

< 効果と成果 >

淡路市のことは「淡路市」で！をスローガンに立ち上げた「淡路市中間支援ネットワーク」なので将来的には、支援を行う団体や個人も淡路市の中の人で完結できる体制。つまり自立が出来る組織として成長してもらうことを目標として、支援を続けてきた。

昨年度は残念ながら市内の団体による「中間支援活動助成」(創設支援事業)への申請は出来ませんでした。来年度は淡路市内の団体から「中間支援活動助成」(創設支援事業)への申請をすることを決定できたことが、一番の成果だと思ふ。

また、淡路市中間支援ネットワークの新たな交流拠点を omiyageya HATCH(ハッチ)に置くことが決められたことも、今後の中間支援やネットワークの拡大には大きな成果となったと思ふ。

これで淡路市のことは「淡路市」で！を実現するためのパーツがほぼ整備されたことになるので、来年度は今年度以上に黒子に徹し、上手なバトンタッチが出来るように心がけたいと思っている。

< 今後の展望 >

今年度は淡路市における中間支援拠点も決まり、事業の途中から市内の社会福祉協議会の方との協働も実現し、相談会にも多くの方が参加くださるようになり、地域住民の顔や市内で活動をしたいと思っている人と直接お会いする機会も格段に増やすことが出来ました。その上、来年度は淡路市内の団体が自ら「中間支援活動助成」(創設支援事業)への申請もおこなう予定であるので、淡路市への直接的な支援は一旦終了し、新たに中間支援活動を担う団体に対する間接的な支援に移りたいと思っています。

コロナ禍も含め、ここ数年は、都心部と地方が求める支援(ニーズ)の違いや働き方の多様化による新たなニーズなど様々な支援の在り方を学ぶ良い機会となりました。

新たに得たノウハウをもとに、淡路市への支援は一旦終了し、来年度は当法人の柱である「女性と子ども」への県下全域に対する支援に専念したいと考えています。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	400,000
自己資金	55,550
合計	455,550

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	人件費	280,000	233,000
	謝金	65,000	65,000
	交通費	28,550	28,000
	施設借用料	24,000	24,000
	小 計	397,550	350,000
	間接経費 (一般管理費)	58,000	50,000
	合 計	455,550	400,000